

上じょう来らい念ねん誦じゆ諷ふ經ぎんする功く徳どくは

新帰元

鎖さ龕がん起き龕がんのの為ために奉ささげ報ほう地ちを莊そう嚴ごんす
茶毘

十じつ方ぼう三さん世ぜ一いつ切き諸しよ佛ぶつ諸しよ尊そん菩ぼ薩さつ摩ま訶か薩さつ

摩ま訶か般はん若にや波は羅ら蜜みつ